

2023年
(令和5年)
No.44

美羽



BEtheONE羽衣国際大学
羽衣学園短期大学同窓会

会長ごあいさつ



美羽会会長
英文13期
短賀
花川 賀美

美羽会員の皆様、国内外各界でお元氣にご活躍の事とお慶び申し上げます。平素は美羽会の活動に温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度は「美羽会五十七周年のつどい」、「羽衣国際大学二十周年」、今年度は「羽衣学園百周年」と記念すべき年に役員と共に美羽会をお預かりし、二年目を迎えました。

大過なく活動できておりますのも皆様のお陰と心より感謝申し上げます。特に濱下名誉会長のご支援は心身ともに助けられ有難く思っております。

今号では、「美羽会五十七周年のつどい」と「羽衣国際大学学長との鼎談について」を特集しております。

時代の節目に大学はどのように対応しているのか中川学長先生が丁寧にお話してくださいっております。

美羽会においても、卒業生の働き方が

変化し価値観が変わってきた現在、活動も自ずと改革を求められてきていると思います。変化の渦中にどう活動していくか、役員が力を合わせて同窓会を存続できるよう、さらには楽しく意義のある活動となるよう努力してまいりますので今後ともご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

ご寄付お礼

(令和4.4.1) 5.3.31

昨年度も多くの皆様のご厚志を賜りましたこと心より感謝申し上げます。おひと方ずつお礼の言葉を申し上げるべきではございますが、紙面を通してお礼いたしますこととご容赦くださいますようお願い申し上げます。

また、振替用紙印刷代の値上げにより今年度より振替用紙を同封していません。お振込みの際は恐れ入りますが郵便局の振替用紙をご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、払込み時の受領書を領収書とさせていただきます。口座番号等は本誌28ページに記載しております。

今後とも同窓会活動に変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

合計額 二十一万円

表紙(作者紹介)

◆表紙画タイトル

「キンバトとマーブルビーチ」

◎古谷嵐さんのプロフィール

一九九九年生まれ

二〇二〇年よりYELLOWにて制作活動を始める

色鉛筆やクレパスを使い、鳥やなじみのある景色などを描く事が多く、ぷっくりした鳥が彼らしい表現の一つになっている

◆題字

大久保莊太郎先生 (元短大名譽教授)

●ご寄付下さった方々(敬称略)

【学校法人羽衣学園】

松井 基純 (理事長)

【卒業生】

- | | |
|--------------|--------------|
| 濱下 恭子 (短3期) | 松藤 貴久 (短22期) |
| 山手 和子 (短3期) | 今別府公子 (短26期) |
| マテイ恵子 (短4期) | 町田 恵子 (短28期) |
| 原 栄子 (短6期) | 文野奈緒美 (短30期) |
| 和田喜美子 (短7期) | 南 知恵 (短31期) |
| 南 佐和子 (短13期) | 千綿 悦子 (短31期) |
| 花川 賀美 (短13期) | 廣川すが子 (四1期) |
| 宮崎 和子 (短15期) | 堺 みほ (四6期) |
| 一筆 佳子 (短15期) | 橘 美千子 (四12期) |
| 谷野ひろみ (短17期) | 三好 祐也 (四13期) |
| 東野 史子 (短20期) | 匿名 希望 (短17期) |
| | 匿名 希望 (短19期) |
| | 匿名 希望 (短26期) |

美羽会 57 周年のつどい

～羽衣学園 100 周年おめでとう

平成27年、役員が総力をあげ開催した五十周年行事の後、次の時代を見据えた活動を考える充電時間を持った。五十五周年の計画はとり止まりました。期せずしてコロナ禍の始まりの年にあたり、二年後に総会を延長した事は幸い致しました。五十七周年としてコロナ禍における規制解除とまではいかず、集まりは2時間以内と定められた開催でした。当日は雨！ それにも関わらず多くの恩師・会員の皆様が再会を喜ばれておられ、終始、笑顔が絶えない会となりました。

「一部」

能とバレエ
「クニトコタチ」
平和への祈り



五十七周年のつどいによせて 辰巳満次郎

学校法人羽衣学園学術文化顧問
羽衣国際大学客員教授



宝生流シテ方能楽師重要無形文化財総合指定認定

五十七周年の集いに、創作能劇「クニトコタチ 平和への旅」をご披露させていただく機会を賜り、まことに有難うございました。

昨今の事情にも関わらず、多くの会員様やご来賓の方々のご出席がありましたことは、大きなひとつの式典があったことによるものと存じます。その会場に、単純な普通の祝言の能ではなく、美羽会らしいものをとのリクエストを濱下会長（当時）より頂戴しました。美羽会様や羽衣国際大学に、常日頃から恩返しをしたい心が御座いますが、またとない場面に機会をいただき、使命感も溢れて参りました。

能の弟子である東京バレエ団ダンサーで演出家でもあるブラウリオ・アルバレスの発案による「クニトコタチ」は、コロナ禍以前よりスタートしたプロジェクトでした。正に今の「乱世」とも言える時代に、日本的な和合の精神を説いたこの作品こそ、この機会に相応しいものと思ひ、この時だけの演出を作って披露いたしました。終わりに「附祝言」として高砂の一部を謡い、絶えぬ循環を繰り返す生命、即ち、美羽会様の生命力を讃えて結びました。心より感謝とお祝いの念を持ち、益々の弥栄を祈念申し上げます。

メッセージ

素晴らしい美羽会五十七周年の集いパーティー！ よい記念になり、参加出来たことうれしく思っております。「クニトコタチ 平和への祈り」では、ウクライナ・ロシア戦争において沢山の市民が苦しい環境の中、自国の為頑張っている姿が重なり、動と静の舞に感動しました。早く世界中が平和に暮らせる日がやってきました様に祈りたいと思っています。素敵な日を過ごさせていただき誠に有難うございました。合唱も素晴らしいです。この平和な日本ずっと続きます様に。（匿名）

「能とバレエの融合の舞」を目の当たりにして、文化芸術にうとい私が無意識なほど引き込まれる状態に、この様な体験と言うか思いを得られました事は、ひとえに濱下会長のご尽力の賜物と改めて会長の造詣の深さに感銘を受けました。ここまで「成長と豊かさ」と「徳」を積み上げてこられた「美羽会」に賞賛と共にこれからも次期会長のもと、より一層の飛躍を願い、心からの応援を送らせていただきます。（匿名）

オープニングの能とバレエが素晴らしかったです。濱下会長と行った中国旅行や、陶芸教室、スカーフ染めなどたくさんの方の行事を思い出していました。全て楽しい思い出です。会長お疲れ様でした。有難うございます。（匿名）

令和3年度活動および 令和3年度決算等について

千綿悦子（短大31期）理事

会報43号は多くの皆様の協力により、濱下会長時代の総まとめとして、次世代に残す31年間の伝言となる事を目的とし、昨年の42号完成と同時に作成に着手いたしました。ややもすると忘れられていく懐かしい時代を閉じ込めた会報になっています。

2021年度決算は3月末に会計監査が終了し、その結果、適正であることが認められましたことを報告させていただきました。2021年度決算、2022年度予算の詳細については、美羽会会報43号に掲載させていただきます。

後ほど委員の皆様に対し新会長の推薦及び承認の議決が行われますが、承認されますと、新会長へ職務が順次移行されていきます。

会報43号につきましては6月の会報發送までは第4代会長が中心となって業務を行います。また濱下会長の下で会報に携わった現行の役員も協力いたします。



学長挨拶

羽衣国際大学学長
中川 恵



この4月に学長に就任いたしました、中川恵です。この度は、美羽会様、五十七周年を迎えられました事本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。大学を代表して、簡単ではございますが、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

これまで、美羽会様には、羽衣学園短期大学・羽衣国際大学の卒業生組織という枠を超え、在学生に対しても、多くのご支援をいただいております。なかでも、20年前に男女共学で4年制の国際大学となつてからは、多くの留学生を受け入れてまいりました。当初は特に中国からの留学生が多く、彼らは遠く故郷を離れて、慣れない日本での生活、アルバイトをしながら、勉学に励んでいましたが、当時は彼らが表立って活躍できる場がございませんでした。そのような状況を心配された美羽会様、特に濱下会長様のご発案で留学生日本語弁論大会を開催し、今年、第17回目を迎えることとなりました。

受付風景

より慎重に体温チェック
ワクチン接種証明書
または陰性証明書の
確認



近年は、中国のみならず、韓国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、ミャンマー、アメリカなど多くの国からの留学生が、毎年実施される、この日本語弁論大会をひとつの目標として日々、日本語力の向上に取り組んでおります。その後、日本人、留学生を問わず参加できる英語スピーチコンテストも、同じく美羽会様のご支援をいただいで創設され、今年で4回目を迎えます。これも学生の満足度や彼らの笑顔というものを何よりも大切に考えてこられた、濱下会長初め美羽会の皆様のおかげと感謝しております。ぜひともこれからも変わらぬご支援をいただけますようお願いいたします。本日は本当におめでとうござります。

「二部」
濱下第四代会長挨拶
令和3年度活動報告
中川学長ご挨拶
役員功労感謝状贈呈

ご挨拶

美羽会第四代会長
濱下恭子



ここに松井理事をはじめ諸先生方、美羽会にご尽力いただきましたかけがえのない皆様をお招きできましたことはこの上もない喜びでございます。

未だ終息せぬコロナ禍で外出をためらわれた方、ウクライナの紛争でスイスより出席を希望された方も空路が変更されスケジュールが合わなくなった等、参加したくても参加できなかつた方も多数おられましたことは残念でなりませんでした。

そのような中、東京をはじめ他府県より遠路はるばるお越しくださいました方々、催しの度にご参加下さっている会員の皆様、本当によくお出まし下さいました。心よりお礼申し上げます。

さて、私事ですが、本日のプログラムにご

ざいます会長引退式をもちまして長きにわたって務めてまいりました会長の任を辞することになります。

美羽会歴代会長としては四番目で、野球に例えるなら四番打者、主砲となりますが、美羽会の主砲として要求された事について力が発揮できたかどうかの評価は後世にゆだねたいと思います。

三十一年前、私が選んだ道は運命の中で与えられた天職だったのか、折に触れ考えさせられました。これまでの時間を振り返り自分の心に問うてみれば、苦勞の労がなかったと言うと嘘になりますが、苦を感じたことはありません。同窓会活動は、やりたい、やりたくないの世界ではなく、引き受けたからには同窓会のあるべき姿を自分に問いかけて、無為無策の仲良しクラブで終わらせてはならないと常に自らを戒めて参りました。引退を迎える時に後悔したくないと、何事にも積極的に臨み続けた日々でもありました。

思い返せば最初の試練は、上林元学長の研究室を間借りしながら三年かけて準備した三十周年行事直前に発生した阪神淡路大震災でした。世の中の空気が暗くなり、皆様の反応も心配しておりました。「こんな時こそ、笑ってもらうことが必要では」と当時の短大橘総務部長からアドバイスをいただき開催にこぎつけました。結果は五百名近くの皆様に参加をいただき無我夢中で準備をしたことは今も忘れる事の出来ない行事の一つです。

その後は、短大の共学化、四大開学、短大閉校、留学生対応など美羽会の未来に繋がる問題が山積していました。

そして何といたっても『五十周年祭』。私がこの周年記念の年までかわり続けるなど、会長を受けた当時は想像すらできませんでした。

この節目となる五十周年行事には五年の歳月をかけ役員の皆様と持てる力を出し合い、最高の記念行事を行うことができました。すべて皆様の強いご支援なくしてやりとお

せるような任務ではございませんでした。役員の方々の持たれるいろいろな個性が一つの輪になり、私を突き動かす原動力になりました。

今日まで美羽会から得たことは、自分に足りない事を早い時期に自覚し、持たぬ者の強みで、出会った方々から学ばせていただくことに躊躇せず向き合い、常に新しい情報から学びを深める機会を持てた事でした。今日までいただいた教養は、私の『忠棒』として心の軸となり、会長の任務をなした要因だと思います。

本日、長年思い描いてきた「いつの日か、中学高校の同窓会である松園会と連携する機会を作りたい」という夢を、引退を前にして喜多会長様をはじめ合唱団のご理解を得、叶えさせていただいたことはこの上もない喜びであります。これでやり残したことは何もございません。会長としての任務を正に全うできたと感じました。

この先も同窓会「美羽会」は、若き日の気持ちのまま集える、卒業生の寄り添いであり続けることを願っております。

三十一年にわたり「会長 濱下恭子」を育てて下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

美羽会顧問 大島満智子

色々病気をしながら命を削りつつ美羽会の為によく頑張ってくれました。

今の美羽会があるのは濱下会長のお陰です。私も微力ながらお手伝いさせてもらいましたが、今から思えば他の人には出来ない経験をいっぱいさせてもらいました。感謝しています。本日の式典もコロナの中、立派な式典でした。会長の御人柄です。これからも陰から美羽会の為に力を貸してあげて下さい。よろしくお祈り致します。

役員感謝状授与

三十一年間、貢献された役員に感謝状・記念品を授与。また、コロナ禍の中、活動が困難であっても美羽会が歩み続ける力となり会長を支えた現行の役員（総会当時）の皆様にも感謝の意を表しました。

最後に和田喜美子理事より濱下会長に對しまして美羽会を代表してこれまでのエピソードを交え31年間の活動をかえりみて想いを伝えました。



- | | | |
|---------|------------|------------|
| <永年功労賞> | 大島満智子（短2期） | 松下和美（短3期） |
| | 久次千保子（短4期） | 和田喜美子（短7期） |
| <貢献賞> | 花川賀美（短13期） | 辻中千景（短18期） |
| | 千綿悦子（短31期） | 南 知恵（短31期） |
| | | 橘美千子（四12期） |
| | | 三好祐也（四13期） |

感謝の言葉

理事（短大7期）
和田喜美子



濱下会長、長い間お疲れ様でした。今まで有言実行を貫いてこられた濱下会長のおかげで色々な行事に参加し、沢山の事を学ばせていただきました。

会長の発案で始まった留学生日本語弁論大会は16年も続く大学の恒例行事になりました。また、地元大阪を離れ、東京支部や中国支部の天津と大連で開催された同窓会にも沢山の卒業生が日本からも参加されました。そして、五十周年を記念して開催されたオセロ公演では、今回ご公演いただきました辰巳満次郎先生はじめ、狂言師の野村萬齋さんや学園の多くの先生方のご協力をいただき成功裏に終える事ができました。そんな折、いつも会長の思いやりのある

おもてなしの精神を基本として、私達は初めてのことにとまどいながらも叱咤激励されながら夜遅くまで掛かって準備をしたことが今では楽しい思い出の一つです。

会長の『羽衣愛』と『美羽会愛』には、命を懸けて守り抜くと言っても過言ではないほどの覚悟が感じられました。私個人的には、そんな会長の背中を見ていて、私にはマネはできないと思いつつも何かできる事が有ればと心に寄り添う気持ちでお手伝いして参りました。

これからは重かった肩の荷を少しでも軽くしていただいて、美羽会初の名誉会長として、花川新会長率いる新しい美羽会に、引き続きご指導ご鞭撻をいただけたらと思います。

本当に長い間有難うございました。





乾杯のご発声 松井基純理事長



日頃の感謝とお祝いの言葉を申し述べたいと思います。本日は美羽会五十七周年おめでとうございます。

長年、学園を大きな力で支えて下さっている事にお礼申し上げます。先ほど学園の学術文化顧問でいらっしゃいます辰巳満次郎先生に古式豊かで幻想的なオーブニングをご用意いただきまして合わせて感謝を申し上げます。

濱下恭子様、誠に御苦勞様でした。ありがとうございました。最後までという事でご挨拶がございましたが、色々と感慨深いお話を聞きながら心の中で感傷的になりました。歴史ある学校法人羽衣学園の中でも美羽会・羽衣国際大学の皆様に御苦勞をかけて支えていただき、今日はご本人様のお人柄ということ、このように集まっていただきまして、久しぶりの先生方・教職員の皆様もおられ、個人的に感慨深さもひとしおでございます。滋賀県からはせ参じてい

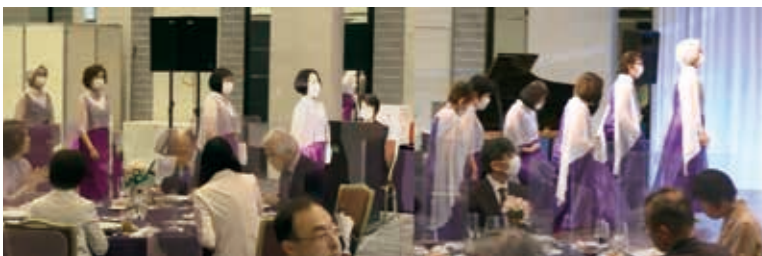
いただきました、当時羽衣国際大学初代事務局長の山田奨先生が「濱下さんには随分世話になったんだよ」と。その一言に頭を巡らせた時、「偉大な人である」と。このひと時をいただいたことに感謝をし、和やかな時間を共有し楽しませていただきましたと思います。たくさんの思い出を持つた分苦勞されましたが、まだまだ学園にいろんな形で対応していただくことも多々ございますので健康に留意され、合わせて益々の美羽会の発展をお祈り申し上げます。

松園会合唱団

過日の「美羽会57周年のつどい」まことに改めてとうございしました。

松園会合唱団代表 里内百合子

コロナ禍での開催のご苦勞が吹き飛んだと思うようなご盛会、心よりお喜び致します。出演依頼のことは嬉しく光栄でもありましたが、私共に務まるのか不安もありました。打合せで濱下会長様の想いを聞かせていただき、プロジェクトの成功は、形式よりも（もちろん形式も大切ですが）そこで表現したいもの、ことは何かという心が最も大切だと感じました。団員にもよく伝えましたので、その気持ち当日の舞台で歌声となってご参加の方々に広がったのであれば本当に嬉しいです。お送りいただきました写真を見て、この日の演奏と記憶がまた心の中に刻まれると思えます。世間の合唱活動に対する規制は、まだ厳しい状況ですが、安全にそして、楽しく歌ってまいります。貴重な機会を与えていただきまして、本当にありがとうございます。美羽会様も、良き運営・発展が続きますようお祈りいたします。



学園百周年への寄付贈呈式



2023年の羽衣学園百周年に先立ち、法人を代表して檜岡事務局長に美羽会員の母校を応援する思いをお伝えし、百万円寄贈いたしました。

濱下会長より「美羽会員全員の心がこもっております」の言葉を受け、「大切にに使わせていただきます」とのお礼の言葉をいただきました

ご挨拶

山田奨元事務局長

「羽衣学園初の女性理事誕生秘話」



美羽会の皆さん、本日はおめでとうございます。今日で会長を退任される濱下さん、本当に長い間お疲れ様でした。この総会で退任されるお聞きし、どうしても伝える

おかなければいけないことがあるので、コロナ禍の中「大阪の水がめ」である琵琶湖のほとりから参加させていただきました。

私が羽衣に着任したのは、短期大学を四年制大学にしようと考えていた時期でしたが、今日は大学を設置する頃のお話を少しさせていただきます。と思います。

羽衣国際大学を設置するために、当時同窓会の皆様には大変お世話になりました。濱下会長を先頭に一千数百万円、現在だと五千万円くらいになるでしょうか、多額の寄付を同窓会の皆様から学園に与えて下さいました。まずこれが一つ目です。

もう一つ絶対に忘れてはならないことがあります。大学を設置すると、学校法人羽衣学園は四年制大学を持つ学校法人になるわけです。そうしますと寄付行為、会社で言う定款を作り変える必要が出てきます。その際に理事の人数を5人だったか増やさなければならなくなりました。これは当時から私の信念ですが、今も変わっていません。女子の学校であるのに女子の理事が



一人もいない、新しい大学を作るのに男子の理事ばかりではないかん。男子が優れていないという事ではなくて、女子の目線で学校法人羽衣学園理事会の運営も見てもらうという事で、濱下さんに白羽の矢を立てました。私が当時いろいろとお付き合いをさせている人と何のその色もない方だということでも推薦を行いました。すぐには了解がいただけませんでした。必死にお願いをし「そこまで言っていただけなのであれば、引き受けます」と言っていたいただきました。それから私が退職するまでの少なくとも8年間、理事会を一回も休むことなく理事を務めていただきました。本当にすごいことです。本当に今でもお引き受けいただいたこと、真摯に理事の勤めを果たしていただいていることに感謝しています。

最後にお願ひが一つあります。それは「濱下さん理事は辞めなさんなや。もつと、女子が理事として就任できるという時代が来た時には退いてもいいけど、それまでは辞めなさんなや」と。

彼女は、同窓会会長だから羽衣学園の理事になったのでありません。理事会であるうが評議員会であるうが本気になつて必ず、一言二言お話になって帰られる、この様に自分の言葉を発していかれる人が重要で、これからも理事会で頑張りたいです。理事長よりしくお願ひいたします。

31年の長きに渡り（本来は40年ですね）ご指導頂き本当に有難うございました。最後の最後まで会長らしい取り組み、平和への折りを込めたオープニングに脳が熱くなりました。会長と初めて出会ったのは、ブレハブの美羽会事務局での英会話教室でした。出会った頃と全くお変わりのないパワーを感じております。今後ともご自愛の上、私達をご指導下さい。どうぞ宜しくお願い申し上げます。（浜田千秋）

五十七周年の集いへ参加させて頂き有難うございました。また、30数年近く美羽会会長を務めて下さり、有難うございました。（匿名）

美羽会同窓会にお招き頂き有難うございました。能楽は、雰囲気に入ったもので、とても楽しめました。松園合唱団の「羽衣乙女うるはし」には、とても感動し、伝統の素晴らしさを再認識致しました。濱下会長、永年にわたり、本当にお疲れ様でした。学園発展の為にご尽力賜り、それを成し遂げて来られた事を今回の同窓会においても実感させて頂きました。お心配りが行き届いた会を創って頂き、心から御礼申し上げます。（匿名）

美羽会 57周年の集い

羽衣学園100周年おめでとう



濱下会長様、永い間お疲れ様でした。今年度、保護者会副会長をさせて頂きます瀧と申します。この歴史ある大学にご縁を賜りました事に感謝し、光栄に思っております。この貴重な場面に出席させて頂き恐縮している次第でございますがこの日をこの時間を大切にすまた明日から頑張ろうと思っております。能とバレエの平和への祈りの舞は、心に響きました。感動しました。松園合唱団の皆様お疲れ様でした。マスク装着での合唱はやりにくい事もあるのでは？と思いますが、素晴らしいと伝わってきました。最後の「糸」は胸が熱くなりました。（瀧 綾）

濱下会長、本当に長い間お疲れ様でした。今日のパーティ、濱下イズムを感じました。「羽衣乙女」3番まであるとは知りませんでした。この歌を聴くと、あの頃を懐かしく感じました。いつまでも忘れたくない忘れない「羽衣乙女」の気持ち大事にしてゆきたいです。「グニトコタチ」鳥肌が立ちました。素晴らしいかったです。（辻中千景）

美羽会五十七周年のつどいに参加させて頂き、改めて羽衣学園を卒業しました事を誇りに思いました。オープニングの能とバレエのコンテンポラリーダンスは初めて拝見させて頂き、とても素晴らしかったです。濱下会長、役員の皆様、長い間本当にお陰で美羽会が成り立っているのが実感致しました。これからは微力ではありますが私なりに頑張つてまいりたいと思っております。どうぞこれからもよろしくお願い致します。（一筆佳子）

美羽会 57周年の集い
羽衣学園100周年おめでとう





羽衣国際大学学長より表彰状と記念品が贈られました

濱下会長さま、永年ご苦勞様でした。美羽会五十七周年の集い、素晴らしい会でございます。生涯忘れる事が出来ません。皆様有難うございました。今後益々の美羽会の発展を願っております。

(松井基純理事長)



学校法人羽衣学園理事長よりお花贈呈とソーシャルディスタンス握手で永年の勞をねぎらわれました。



羽衣国際大学タイボランティアの学生さんより思いがけないプレゼントにビックリ！そして同級生が登場し、プログラムにない花束贈呈に31年の様々な思いが一度に溢れたようで涙・涙…

濱下会長のスピーチを聞いて私の頭の中は走馬灯のように懐かしい思い出が次々と巡っております。何一つお役に立ちませんでした。一緒に美羽会の運営に携わる事が出来たのは私にとっでは財産だと思っております。本当に長い間、美羽会の為に御尽力いただき有難うございました。

(匿名)



美羽会の行事に何度も出席させていただきました。今回は、濱下会長引退、新会長承認という節目の年でしたが、コロナ禍でこれまでのような参加者数でなかったことが残念でした。卒業後も楽しい集いをしていただきありがとうございます。

(匿名)



花川新会長より濱下名誉会長に表彰状と記念品贈呈

新会長承認式

【新会長選出の経緯】

平成28年・令和2年に南知恵理事に次期会長の打診を致しましたが、子育てのため辞退されました。美羽会では、理事が会長を推薦するという規定に基づいて三年毎に行っております。第五代会長について推薦の声が上がらず、最終的に濱下会長より美羽会の事務局長として在職され、美羽会に精通しているので今回は特別に花川理事を推薦していただき、本人の承諾をいただきました。

理事会においても花川理事を選出し、令和3年10月秋の総会で候補者に決定しました。

(但し、南理事辞退後令和3年の総会まで、推薦、立候補の受け付けを継続しました。松藤理事より辻中千景理事の推薦がありました。辻中理事は職務に専念することと辞退されました。)

住所が判明している全会員に対し、五十七周年の集いの案内状に添え、新会長承認の委任を受ける旨を伝え、欠席者より委任いただきました会場にて承認を得ました。満場一致で花川理事を羽衣国際大学・羽衣学園短期大学同窓会美羽会第五代会長として決定いたしました。

【新会長挨拶】

短大十三期の花川でございます。

第五代美羽会会長に就任させていただくことになり身の引き締まる思いを致しております。

ご指名いただいた時には濱下会長のように美羽会を守っているのか迷いがございましたが、母校を大切に思う濱下会長に習

新 役 員



い、役員の方々と共に羽衣の伝統を守りながら、少しでも卒業生と母校のお役に立てますよう運営してまいりたいと考えております。

最後に、濱下会長、長きにわたりありがとうございました。今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。

名誉会長

濱下 恭子

会長

花川 賀美

理事

宮崎 和子

一筆 佳子

見通 祐子

住山 正洋

橘 美千子

三好 祐也

会計監査

文野奈緒美

岡 幹人

顧問

和田喜美子

羽衣国際大学副学長

石川 英子先生

濱下恭子会長様、美羽会の名誉会長のご就任おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。31年という年を美羽会の会長を務められたことは、尊敬しかございません。組織のトップとして誠心誠意、卒業生や現在学んでいる学生の事を大切にしていただきありがとうございます。

今迄、大学との関係を大切にして下さった事を心の中に置き、これからも美羽会との関わりを大切にしていきたいと存じます。先日は美羽会57周年つどいに参加させていただきましたこと、お礼を申し上げます。隔々まで濱下会長様の想いの詰まったつどいだったと思います。特に松園合唱団の「空の端っこ」「糸」の歌声をお聴きしながら涙があふれてきました。心が救われる思いでした。これからも濱下会長様にはお世話をお掛けするかと思います。宜しくお願いします。

羽衣国際大学名誉教授

泉 紀子先生

羽衣を愛し続けた会長に敬意を表します。これからも羽衣ブランドを大切に。健康に留意して日々を楽しみましょう。

元羽衣学園短期大学

松野 潔子先生

お招き有難うございました。皆様に久しぶりにお会い出来、昔に戻り、年を忘れましました。濱下会長のご退任との事、これまでのご尽力に感謝致します。羽衣の明るい雰囲気はいいですね。大好きです!!今回の能平和祈願とても良かったです。



閉会の言葉
辻中千景(短大18期) 理事



本日はコロナ禍の中お集まりいただきありがとうございました。今日、私がここに立っている理由は、「貴女が現行役員の中でいちばん長く美羽会を見てきた」という濱下会長の一

一言で、担うこととなりました。私は濱下会長が役員に就任されたころに出会っております。四十年ほど前、私が短大の一年生で、校友会の次期会長として先輩の謝恩会のお手伝いに行った日が最初の出会いでした。

その後、濱下会長が会長に就任されましたが、その時代の美羽会は存在感がうすく、活動をするにも幾多の困難がありました。大半の皆様にはそのような状況があった事は想像できないと思います。

美羽会では毎年、会員の皆様に送らせていただいている会報は「記事集め」「紙面構成」「文字校正」そして「発送作業」をすべて自分たちの手作業で行っていくという一年をかける大きな事業の一つです。それ以外にも母校支援という事で、留学生に対する日本語弁論大会、強化クラブ支援及び選手表彰など濱下会長の発案で様々な援助を行っております。どんな時でも、美羽会の活動には「心で」「心を込めて」「気

持ちで」という濱下会長の一貫した思いが込められております。この思いを美羽会の運営に携わってきた歴代の役員の皆様から受け継いだすべてを、今日、私たちは次世代の役員の皆様へとつなぎました。さあ、あたらしい幕がさがりました。この思いを胸に、新しい時代を進んでいていただきたいと思えます。皆様今後ともよろしくお願いいたします。



松園会合唱団のラストソング「糸」を聴きながら涙ぐむ方もおられました。コロナ禍で閉塞気味な日々からしばし解放たれ久々の友情の輪の中で懐かしい時代に想いを馳せ、二度と経験できない会になりました。

濱下会長、長い間お疲れ様でした。濱下会長に築いていただいた美羽会を今後、大事に引き継いでいける様、頑張っていきたいと思えます。今日の美羽会五十七周年の集いも能とバレエのクラブという事ですごく新鮮でしたし、松園会による「羽衣乙女うるはし」も、とても懐かしかったです。濱下会長さん、会長を引退されましたも、これからも美羽会を温かくお見守り下さい。くれぐれもお身体お大事になさって下さい。(宮崎和子)



楽しい一時を過ごす事が出来ました。コーラスの中に二人同級生の方が居て言葉を交わす事も出来ました。濱下会長には長きに渡り美羽会に御尽力いただき感謝致していただきます。有難うございました。(辰富志子)

濱下会長、長年お疲れ様でした。又、花川新会長これからも美羽会をよろしくお願い致します。同級生として応援出来ればと思います。これからも同窓会の発展を心より祈っております。羽衣学園を卒業して良かったと心より感じております。そして卒業生の皆様のご健勝を祈っております。(匿名)

素晴らしい会でした。関係された皆様のご苦労を感じる事が出来ました。お疲れ様でした。また、そのような席に同席させていただき有難うございました。濱下会長には、今後は今までより少しでもご自身のお身体の事を考えていただければと思います。本当に長い間ありがとうございました。(匿名)



花川…本日はお忙しい中、お時間をいただきまして誠にありがとうございます。中川先生は中東・北アフリカ地域の研究がご専門で、会報「美羽43号」の学長ご挨拶に湾岸戦争以降の大きな出来事を挙げて下さいました。在チュニジア大使館でのお仕事もされておられたそうですが、初めに少し現地での生活のエピソードをお聞かせ願えないでしょうか。

中川…こちらこそ本日はこのような機会を設けていただき、ありがとうございます。そうですね。チュニジアには2002年から2004年に滞在しておりまして、大学院修了後、研究員をしばらく務めてから赴任しました。2010年の末にチュニジアは「アラブの春」ということで大規模な民主化のデモがあつて、23年間の長期政権が崩壊したんですね。わたしがいたのはその前なのですが、独裁政権下ということになるのですが、外国人として生活するには非常に治安の良かった時期でした。チュニジアはご存じの通り人口1100万人ぐらいの小さな国なんですけれども、海岸線がすべて地中海に面していてシチリア島のちょうど向かいぐらいのところにあるんですね。ヨーロッパからすれば非常に安い、安価な、でも同じ地中海リゾートで、しかもカルタゴというローマ帝国と、3回も戦争をやって最終的に負けたんですけど、そのあとローマの植民地になりましたから、いわゆるコロッセウムとかイタリアの観光ビデオによく出てくるようなローマの遺跡が非常にたくさんあるんですね。ですの、ヨーロッパからの観光客にも人気のリゾート地でした。夏は海が大変きれいで、ちょうど私も海岸線沿いの家を借りまして、普段は大使館があるチュニスまで車で30分ぐらいのところでした。朝は結構早くて8時30分から9

時始まりで、時期によって違うんですけど朝早く出てしまつて夜遅く帰つてくるので週末しか海をゆっくり見ることができませんでした。しかし特に夏は半分リゾート地にいるような感じで、現地のチュニジアの人たちの生活もゆったりとしたリズムで、日本とは随分違うゆとりを感じました。

花川…チュニジアといえば、小物や雑貨など

Interview

DX化の加速・時代が求める教育
さらなる飛躍を目指し

これからの大学考

中川恵学長が語る

開催日時 令和4年8月21日(日)
開催場所 羽衣国際大学長室
出席者 中川恵羽衣国際大学学長
濱下恭子美羽会名誉会長
花川賀美美羽会会長

どが素敵だと思えますが、そういうお土産的なものはどのようなものがありますか。

中川…絨毯はイスラーム世界でよく使われていますが、チュニジアでもお値段は安いものから高いものまであり、結構人気で、お皿など瀬戸物の食器であったり代表的なお土産物でした。ただ革製品は

モロッコの方が有名です。

花川…そうですね、ありがとうございます。さて、中川学長と濱下名誉会長は、平成16年に理事長室で初めてお会いになったと伺っております。先生は着任のご挨拶に、名誉会長は法人理事就任のご挨拶ということで偶然出会われたそうですね。

中川…よく覚えております。

花川…その後も先生が国際交流委員長としてお目に掛かったり、美羽会の中国ツアーでも一緒にさせていただいたり、これまでいろいろな形で関係を持つことがあり、現在も共に学園のことで理事としても携わっております。理事としてのお役目、さらには学長・教授としてのお役目、さらに理事としてのお役目大変だと推察します。そのことに関して今どのように感じてもらえるかお聞かせください。

中川…平成16年に初めて濱下名誉会長にお目にかかった時は、よく覚えておりまして、そこから長い年月が過ぎたんだなと思いますが、その間学園の大先輩としていろいろとアドバイスをいただきました。特に国際交流委員長の時に美羽会さんが開学当初から、当時は中国からの留学生が非常に多かったわけですが、なかなか日本人学生との間でうまく交流ができず、そして中国もまだ経済状況もそんなに今ほど良くなかったため、大変な思いをしている留学生たちにスポットライトを当てようという事で始められた日本語弁論大会に対する思いは今も大切にしております。この留学生日本語弁論大会は今年第17回目を迎えることとなりました。学生を第一に考え、学生のために、という美羽会さんの思いを学ばせていただき、大学の運営に対しても本当にいろいろと助けていただいたことに感謝しております。

この4月から期せずして学長に就任し、同時に理事という立場になったわけですが、まだ数か月ですのでとにかく一所懸命やってきたということだと思います。

しかし、羽衣学園が設立された一番最初の原点というのはやはりどんな時代になっても重要であると思っています。女子教育が重要視されていなかった時代に、あえてそこに重点をおいた教育機関をつくらうということで、時代を先取りする精神に基づいて設立された学園ですので、その原点を大切にしていきたいと思っています。来年に学園創立百周年を迎えますが、これからは男性・女性の間の平等に加え、日本人と外国の方々との共生は重要であると考えています。日本社会の少子高齢化はますます進んでいきますので、日本社会自体がおそらく今よりも多くの国籍の方々を迎え入れる、いろいろと文化的なバックボーンの違う人を迎え入れる、そして一緒に生活をし、働く社会になっていきますので、そういったいわゆる共生社会を担っていきける、背骨のある学生を育てていきたいと思っています。

花川…ありがとうございます。それでは濱下名誉会長の方からご質問をお願いします。

濱下…コロナ禍により学生さんのメンタリティやコミュニケーションの取り方が変化していると感じておられると思います。特に三年生の充実感が最も低いのではないのでしょうか。学生さんの日常の様子をお聞かせください。

中川…コロナに関して言いますと、小規模大学で良かったというのはいま言えると思います。2020年の3月頃から本格的にコロナ禍が始まり、4月からオンライン授業が初めて本学でも導入されま

して、そこからしばらくはオンラインだけで授業が行われましたけれど、昨年からはほぼ100%対面の授業が実現し、現在はコロナ蔓延前の状態にほぼ戻りました。このオンライン授業は学生にとってもそうなのですが、教員にとってももちろん手探り状態で行われたもので、大変でしたが、その中で様々な発見はございました。例えば、大教室での授業では、学生に「質問がありますか」と言ってもなかなか手をあげる学生が少なかったですし、いつも質問する学生が決まっていたわけですが、オンライン授業の場合は、こちらが音声で出す質問に対し、学生がチャットで返答する、あるいは学生の方からチャットで質問をするという形態になりました。そうしますと、おそらく教室だと手をあげないような学生が非常に積極的に質問してくることもあり、オンライン授業ならではの積極性を見せた学生が一部にはいたことも事実です。

濱下…特に著しく進化したのはオンライン化による授業ですね。今回DXを推進される、反転授業を展開されておられますが、学生さんはそのシステムについて行けておられますか。成果はありましたか。また、それによる問題点など発生しているならば現状を説明してください。

中川…授業の反転化というのは、基本的に大学の授業は90分で1回の授業ですが、その前後に、自分で予習をし、自分で復習をして、一単元完結するのが従来のスタイルです。本学の場合の反転化というのは、より事前学習・予習がしやすいように、予習動画を教員が準備をします。その映像制作に必要な機材や人件費等について幸い国の補助金を得まして、放送メディア映像学科のスタジオ以外にも設置しています。専門の職員をスタジオに配置し、そこで教員が短い5分から10分



濱下美羽会名誉会長

中川学長

花川美羽会会長

程度の講義をして、サーバーを通して学生に配信し、予習してから実際の90分授業に出席してもらう仕組みです。学生は事前に予習動画を視聴することで、その授業の理解度が深まるようにするというのが、本学における授業の反転化とされているものです。ですので実験や実習系の授業の場合、大教室であれば実験の授業の冒頭で手順を説明しますが、その部分を動画に収録し、事前に見ておいてもらうことができます。大人数の教室ですと、学生全員が、なかなか教員の手元まで見えないことがあります。ビデオですから細かいところまで見れるとか、繰り返し見ることができるとのメリットもあり、90分の授業を最初から最後まで実験に使うことができます。また、そのビデオをライブライバー化して、いつでも視聴できるようにしていく予定です。

効果については今後検証する予定ですが、概ね学生からは好評です。今年が2年目になりますので、まだすべての授業が反転化されているわけではありません。現在で約半数の授業で反転化の要素が取り入れられています。いずれにしても一科目の授業は全部で15週あります。15回すべての回で予習動画を作ると、学生も見るのが非常に大変ですし、作る方の負担もかなり大きなものになりますので、いくつかの回を教員が選んで動画を作成しています。全ての科目で少しずつ反転化の要素を取り入れることを今年度いっぱい目指しているところです。

濱下…時代を先取りするような学びの環境を、大学は提供していることがよくわかりました。学生さんが与えられた環境を活かしていかんが学んでいくかというのが全ての答えになりますね。

中川…そうですね。ただ、見てきた学生

と見て来なかった学生が混在してしまうと実際授業を進めるのが難しい場合がありますので、そのところは今後解決対応すべき課題です。

濱下…今後、オンライン化により学びの選択肢が増えるかと思えます。目まぐるしく変化していく現代社会において、仕事で求められる知識やスキルアップに応えるため、学位の習得や技能資格を必要とする人達が増えてきているようです。このような時代の流れを捉えて、リカレント教育等新たな環境を提供するようなお考えはありませんか。

中川…リカレント教育は、大学としては長期的には取り組むべき重要な課題であると認識しています。ただ、これはちよつとマンパワーの点で、今すぐ本格的に取り組むのは難しいように感じています。これまで大学としましては、企業などを退職された直後ぐらいから、かなり高齢の方までを対象にした一般公開講座は長く続けていただいているほか、それとは別に『中国語を学ぼう』などの語学系講座、シルクロードなど一般教養系講座などは開いています。けれどもそれ以上の本格的なリカレント教育、たとえばビジネスのスキルアップを目指したり、現役の中堅世代の方々にとつて即戦力を身に着けられるような実践的な社会人講座は、他大学では実施されているところもございしますが、本学の場合は、教職員の人数が少ない、会社帰りに寄りやすい都心にサテライトキャンパスを持っていないなどの制約があります。もちろん時間的にも社会人の方に合わせて夜間や土日に設定することが必要になってきますので、今実施している一般公開講座とは全然違うものになってしまいます。将来的には検討したいとは思いますが、今すぐには難しいだろうというのが正直

なところですね。ただ、今までそういった講座を開いている大学さんというのは、基本的に都心にサテライトオフィスを設けて、そこで実施するという形態が多くございましたけれど、今は幸いそれをオンライン化するという方法であれば海外からでも日本全国からでも受講ができるというものですので、場所の問題は解決できますので、ICTの活用も視野に入れて将来的には考えていきたいと思えます。

濱下…是非とも前向きに進めて下さい。海外の話が出ました。多文化共生時代も遠からずと思えます。本学も国際大学であり、閑空や泉北の工業地帯も近く、未来の道を開くヒントが見出し易い立地条件にあると思えます。留学については、費用の問題や単位取得の問題が有ると思えます。たとえ一週間、一か月の語学研修でも、海外に目を向けるきっかけになると思えます。海外で異文化や生活に触れながら感性を養い、視野を広げ自らの主張が出来るように、学生が積極的に参加できるプログラムがあればと思います。交換留学等は経費が軽減され、協定校を様々な国にわたり増やされても良いのではないでしようか。

中川…おっしゃる通りで、留学に関してはやはり学費を羽衣に支払い、さらに留学先でも払うとなりますと、非常に学生の負担が大きくなりますので、これはおっしゃったとおり学費を相殺できる、交換留学が可能な協定校を今CS D（共通教育開発センター）が中心になって増やしているところがあります。現在も20校ほどの協定校がございしますけれども、今後できるだけ多くの国々の大学と、協定を増やしていきたいと考えています。3〜4か月の中期の交換留学に、一定の語学力のハードルを越えた学生が気軽に行けるよ

うな環境を今後整えていきたいと思っ
ているところ。そのうえで海外留学を
希望する学生を増やす、学生にいか
に目を向けてもらうかというのは、本
学においては以前からの課題で、海外
留学プログラムは短期のものから長
期のもの、色々ありますが、リピー
ターが多くいます。つまりタイのボ
ランティアにも、韓国にも、中国に
も、アメリカにも行く学生が一方
で、海外にまったく関心がない学生
もいます。本学は約2割程度の学生
が留学生ですので、海外に行か
ないまま、自分とは異なる文化的背
景を持つ留学生とは交流を持ち、友
人を作ってほしいと思っています。そ
のような交流の中から、将来、また
海外にも目を向けるきっかけを得て
もらえればと期待しています。もち
ろんさまざまな授業でも海外に関
心を持ってもらうよう工夫していま
すが、それらの授業自体は楽しんで
勉強しても、実際に一歩踏み出さ
ない学生も結構いますので、そう
いった学生たちの背中を押してい
きたいと思っています。

濱下.. 国際大学である国際という部分
はどの辺にポイントを置いて国際を
表に出していくか、アピールしてい
くかそのあたりのところが漠然とし
て見えなくて、先生は学長になら
れてまだ間がないのですが、これ
までの積み重ねの中で欠けている
部分があったとすれば、今後の課
題として解決すべきではないでし
ょうか。

中川.. 今年が大学創立二十周年
ですが、開学当初、留学生の多くを
中国からの留学生が占めていま
した。この留学生の出身国を多
国籍化したいと自分が国際交流
委員長の時から思っていました。
現在は、中国に加え、ベトナム
出身の留学生が非常に多くなり、
近年は、わずかですが米

国、インド、スリランカ、マレー
シア、インドネシア、アメリカ、
ミャンマーから本学に来ていま
す。環太平洋を中心に少しずつ中
国やベトナム以外の国々の学生
も増えてきましたから今後はも
っと多くの国から留学生を迎え
たいと考えております。そのうえ
で、交換留学を増やしたいと思
います。ただ、3、4か月だけ本
学で学びたいと考える留学生の
場合は、日本や日本文化などに
関心はあっても、日本語力の授
業を受けるだけの実力がなく、
英語で使用者が少なく、その
うなることや世界で使用する
のが英語になりますから、英
語である程度日本が学べる、
日本の歴史から現在の文化ま
で幅広く英語で学べるプロ
グラムを今後構築する必要があります
です。すでに英語での講義科目
などは過去数年間で少しずつ増
やしてきておりますが、今後も
科目数を増やし、本学で1セ
メスター程度学ぶハードルを
下げたいと考えています。

濱下.. 海外留学を希望する
のは、どうしても現代社会学部
の学生さんが多いと思います。
人間生活学部の学生さんにも
フアッション、インテリア等を
多く含むので学ぶチャンス
の扉を開いてあげて欲しい
です。

中川.. 全くその通りで、現代
社会学部から参加する学生
さんは多いですが、人間生活
学部の学生さんにも今後
はぜひ多く参加してほしい
と思います。人間生活学
科の学びは衣食住すべてを
カバーしています。食クリ
エイトコースでは製菓分
野を中心に、住空間デザ
インコースではインテリア
、そしてもうひとつフ
アッションデザインコース
があります。これらの3
つのコースの学びでは、
海外に行く全く違うフ
アッション、住空間、食

に触れることは非常に重要だと思
います。今後ぜひ専門の学
びと語学を組み合わせたい
と思います。また、食物
栄養学科の場合は海外
に関心がある学生は結
構いるのですが、管理
栄養士育成課程なので、
国家試験を目指して時
間割が組まれており、
なかなか余裕もった
時間割を組むことが
できません。栄養学も
アメリカなどは学問
的に先進国ですので、
将来的には専門の学
びと語学を組み合わせ
たいと思います。例
えば半年間、中期留
学する場合は、管理
栄養士課程の厚生
労働省による制約が
あり、実際は休学
して行くことにな
って、卒業も遅れる
ことになってしま
いますので、人間
生活学科の場合
よりハードルが高
くなってしまう
と思います。

濱下.. 問題もあると思
いますが、大学進
学を目指す高校生
の人達が楽しく学
べると感じられる
取り組みの一つに
なればと思います。
これまで本学を
卒業された留
学生は自国に帰
って就職される
方が多かったです
が、最近の留
学生は日本で就
職したいという
方が多くなって
きていますと聞
いています。どの
様な職種で働
きたいと思
っておられる
か、また留
学生に対する
キャリア教育
と日本人
学生に
対しての
キャリア
教育の
違い
について
お話し
くださ
い。

中川.. 中国人の留
学生に関
して言
います
と、傾
向は以
前から
あまり
変わ
って
いま
せん
ね。一
つは自
分の
国に
帰っ
て起
業す
ると
いう
進路
です。
中国
の大
連や
天津
での
同窓
会に
一緒
させ
てい
ただ
い
た時
にも、
起業
して
成功
した
卒業
生も
多く
参加
して
くれ
まし
たね。
もう
一つ
は大
学院
を希
望す
るケ
ース
です。
日本
で大
学院
に行
って
修士
号な
いし
博士
号を
取っ
て帰
って、
必ず
しも
大学
の教
員に
なる
とは
限り

ませんが、一般企業に入っても、中国では学位が日本社会より評価されます。就職する際に、学士号なのか、博士号なのかで、随分待遇が違うため、博士号まで取得を目指す大学院ルートがあります。さらに三つ目は、本学卒業後すぐに日本で就職を希望する学生もいますが、この進路は、現在最も数が多いベトナムからの留学生に多く見られます。ベトナムからの留学生には、ほとんど大学院志望者はいません。圧倒的に多いのは本学卒業後すぐに日本の企業で働いて、まずしっかりと経験を積んだうえで、将来はベトナムに帰って働きたいと語る学生が多くいます。このようなベトナムからの学生に人気があるのは情報系の学びの分野です。現在羽衣でもGCP(グローバルチャレンジプログラム)という学費や留学費用を全額大学が負担する、日本人学生向けの特待生制度がありますが、準GCPという形で多少の特典がある制度については留学生にも門戸を開いています。その中に優秀なベトナムからの留学生で英語も日本語も非常に堪能で、将来自分の国の発展に寄与するために人々に役に立つアプリを開発したいという学生もいるんですね。そういった学生は日本で就職をしてしっかりと経験を積んだ上で将来ベトナムで役に立ちたいというルートを思い描いています。このような、日本の企業に就職したいという留学生については、日本人学生と同じキャリア教育を行ってほしいです。また外資系企業などで働くことを希望する学生のグローバルキャリア養成についてはGCPプログラムとともに今検討中です。留学生が就職する場合の職種の一つは情報系、もう一つは自国の言語能力や文化の知識と日本での留学経験を生かすことのできる観光分野が根強い人気があります。また、最近

国際物流の分野で就職を決めた留学生もいます。観光分野は新型コロナウイルス感染症の蔓延で、一時募集がかなり下火になってしまいましたが、コロナの収束とともに今後確実に盛り返す分野です。

濱下..4年前の吉村前学長との対談の折に、『退学する人が結構多いということに対してのサポートはどのようなことになっていますか』とお聞きしましたら、陪席者の清水局長が「学習支援よりも生活支援であって、職員は学生以上に成長しないといけない。知識、技能を身に着け協調する方が必要で、先生と一緒にやって支援することである。」とおっしゃっていただきました。あれから4年経ちましたが、現在変化がございいますか。

中川..それは難しい問題ですね。

濱下..退学の生徒の数は減っていますか。

中川..二代前の学長先生であった岸本学長先生の時代に、中退予防プロジェクトが立ちあげられました。このプロジェクトは、一応成果を上げましたので、この春3月末を持って一応終了し、その中で得たノウハウは教学委員会などで継承して今後も継続していくことになりました。このプロジェクトを通して、入学直後に新1年生全員に教職員が手分けして面談し、問題を抱えている学生をいち早く発見し、勉学を続けられるよう、クラスアドバイザーやゼミ担当教員と情報を共有し、対応したことで、中退する学生の数を減らすことができました。また、経済的な理由で勉学を続けることのできないケースもありましたが、国が高等教育の就学支援制度を始め、低所得者のご家庭に関してはかなり支援が出されることになり、中退せずに済んだ学生も多くなります。本学は全学生数1000名ほどの小規模な大学であることを活かして、学生が抱える問題を発見しやすいと思

ます。教職員が協力して、それらの問題を一緒に解決できるようにし、全学をあげて、そういった困っている学生に対し、あなたのことを大切にしていますよ、見守っていますよと感じてもらい、場合によっては保護者の方ともコミュニケーションを取って、きめの細かいケアができることを今後も大切にしていきたいと思

濱下..この大学では小規模であるからこそ教職員の目が行き届き、できることが沢山あると思いますし、この学生になって初めて自分自身の真価を見つけてくる学生さんもたくさんいるような気がします。思い出を作る何を作るという以前にやはり個々の存在価値を本大学に入ってから初めて気付く方も少なくありません。一人でも多くそのような学生さんが育っていただきたいと思っています。そのためには先生方は勿論のことですけど、職員の皆さんも一体にならないと学生さんは育たないと思います。教師一丸となり今後とも学生さんを立派に育ててあげてください。

中川..はい、温かいお言葉、ありがとうございます。

濱下..フィールドワークを授業に取り入れ、地域との関わりというのを積極的に実行しておられます。今回の「宝塚カレッジグランプリ」では、学生さんのアイデアを基に商品化されて百貨店で他大学と競い、グランプリを取ったようですが、他部門においても学生さんの活躍を目の当たりにし、大変喜ばしく思っております。岸本前学長先生の時代においては、ステークホルダーである保護者会と美羽会との関係を大事にされてこられました。先生はステークホルダーとの今後のかかわり方はどの様にあるべきか、また存在についてどのように認識されていますか。

中川…学長の所信表明のところででも書かせてもらいましたけれど、やはり本学にとって非常に重要な柱の一つは地域社会とかかわりだと思っただけですね。そういった中でももちろん現在の大学生の保護者の方、そして卒業生の方々は大学にとっての一番の応援団であると思いますし、色々良いことだけでなく問題点も指摘していただける貴重な存在とっております。

濱下…今年は大卒20周年。しかし、その前に短大という下支えがあつてこそその四大だと私は思っています。四大1期生というのは同窓会の方では二年短大で学び、三年次編入した人が美羽会での1期生となります。少なくともあと三年もすれば四大卒業生の二世の大学進学が近づいております。四大1期生のお子さんの入学を私達も楽しみにしております。

現在、社会は働き方も人との交わり方も変化し、自ずと個々の価値観も、私がお長を預かった30年前と大きく異なつてきていることを引退前から感じてきました。会員が増え、中身が希薄な状態では運営も困難になります。同窓会も変化に合わせて改革も必要な時期になつてきたと思います。それをしなければ持ちこたえられなくなるでしょう。他大学でも大学の事務組織の中に同窓会を作っている所も多いようです。この件については何度か大学側ともお話ししましたが、進展はしていません。同窓会における費用を一部大学に寄付して人件費にという考えもお伝えしました。継続性のある共存を旨とし、卒業生は母校を支援し、母校は社会人と卒業生の誇りとして存在し続けていきたいと思います。

中川…今後ともよろしくお願いいたします。年数が経てば経つほど卒業生の数も増えていきますので、その分ネットワー

クはどんどん広がつていって、これは大きなメリットなわけですが、その分事務局の負担は大きくなつていくことになりそうです。同窓会の法人化については、私は詳しくは存じなかつたんですけど、様々な負担をうまく減らしていきつつ、メリットのネットワーク化の部分だけを強化していけるようなことができれば本当はこれが一番いいわけですね。今回、不幸にして世界はコロナ禍に見舞われたことで、逆にそのなかでオンライン化が進み、紙の書類の扱いについて、改めて考えさせられる機会にもなりました。たとえば教員が所属する様々な学会などは、昔は二ユースレターを印刷して郵送するということをずっとやってきたわけですけど、コロナ禍以前から全部PDFにしてメールで配信しているところが多く、郵便物として送るのは紀要ぐらいという学会が多くあります。海外に目を向けますと、そういった紀要さえも電子ジャーナル化されてますので、パスワードをかけて、限定公開する仕組みがかなり以前から見られました。郵送作業がなくなるだけでもかなり事務負担が違ふと思うんですね。日本の場合、ご高齢の方々を含めてすべての方にPDFをメールで送りますというのは難しいかもしれませんけれど、私たち位の世代、50歳代の人たち以下であれば全く問題なく対応できますから、徐々にペーパーレスへの移行は進むと思います。またPDFでいいのであれば、かなりきれいなレイアウトもできますので印刷にかかる労力と経費が違つてくるように思います。

濱下…要は、世代間の問題でそれを受け入れられる世代と受け入れられない世代、その部分というものは同窓会ではまだまだ年齢的に幅がありますから。そのうちに変つてくるとは思いますけれど、やはりその辺の線引きというのは必要かと思ひます。

本日が多岐にわたりお話を聞かせていただき有難うございました。最後に先生が学長として直ぐに着手されたいこと、また20周年後、中長期時間をかけて新たな分野を開拓されるようなビジョンをお持ちでしたらお答えください。

中川…こちらこそありがとうございます。そうですね、なかなか大きなお話で、少し繰り返しになってしまっていますけれども、日本社会も変わっていきますので、本来の意味で共生社会を担うような人材を育成していきたいと考えております。本学の建学の精神として「自由、自主、自立、個性尊重の人間教育」を創立以来掲げています。一人一人の学生の個性を生かしていけるような教育機関でありたいし、学生さんにとってはここにきてよかったな、今まで、あまり学ばず楽しさを実感したことがなかった学生さんも含めて、卒業後に長く続く人生の社会に出る最後の、本学で過ごす時期に、学ぶことはこんなに楽しいんだなと、違う背景を持った人たちとの交流っていうのはこんなにも得るものがあるんだな、といったことを実感してもらえような場を作っていきたいと思っております。中長期的には、学生の自由な学びの充実につながる場、環境としてのラーニング・コモンズの整備や、先ほど交換留学の話もありましたけれども3、4か月という短期間でもより多くの学生が協定校から来てもらいやすくし、本学の国際交流の場となる国際学生寮などの施設面でもできるだけ充実をさせていきたいと考えています。

濱下…今後、中川学長先生のカラーで、どのように大学が塗り替えられるのか楽しみにさせていただけます。

本日はありがとうございます。

(2022年度) 報告



会計監査
 羽衣国際大学新生に会報 42 号配布
 強化クラブ結束会
 美羽会 57 周年のつどい
 (学園 100 周年お祝い)
 会報 43 号最終稿

4月・5月

会報 43 号封入・発送作業
 会報 44 号作成作業開始
 留学生に会報配布
 会報戻り整理、
 名簿変更手続き

6月・7月

総会一部「能とバレエ 祈りを舞う」



強化クラブ結束会



強化クラブ大学表彰式

学長鼎談
 食物栄養学科
 (カレーグランプリ協力)
 秋卒業者に記念品贈呈
 羽衣国際大学 20 周年お祝い
 羽衣学園慰霊祭

8月・9月

令和4年度 活動



日本語弁論大会

第17回留学生日本語弁論大会
美羽会後期総会
羽衣国際大学能楽鑑賞会
大学祭支援
第4回英語スピーチコンテスト



英語スピーチコンテスト

10月・11月



HAGO祭



ファミリーコンサート後援
卒業記念品贈呈
卒業生に美羽会説明リーフ
登録届配布

2月・3月



令和4年度校友会メンバーと

新旧役員意見交換会
留学生交流会支援
強化クラブ大学表彰式
学友会クリスマスイベント支援
新卒評議委員説明会

12月・1月

(通年活動)

●会員名簿管理 ●会報作成作業 ●理事会開催 ●ホームページ更新 ●月度会計チェック ●その他学園・大学行事協力

なお、羽衣国際大学の卒業式、入学式はコロナ対策のため招待が叶わぬ旨の通達があり3年間出席しておりません。

令和4年9月14日、開学二十周年を迎えられた母校に美羽会よりお祝い金を贈呈しました。大学では嘉田由紀子氏（前滋賀県知事）をお招きし、記念講演を開催されました。



20期生に卒業記念品贈呈

羽衣国際大学20期生となる二七八名に、卒業記念品として大学・保護者会とともに「スピーカー・充電器付きクロック」を贈呈しました。



第4回 英語スピーチコンテスト

2022.11.12 1401教室

これからの国際社会の中で、多様な価値観を理解しつつ、国際語である英語で自らの考えを的確に伝え、社会の健全な発展に寄与できる人材育成の一環として開催されました。今回も3つのテーマからの選択式で、7名の学生が自らの考えを手ぶりを交えて発表されました。

最優秀賞弁論内容

I have doubts as to whether Hageromo University of International Studies is actually an international university.

It can be said that the globalization of a university campus is separated into 3 main components; the first being the students' English ability.

However, there are not many students at HUIS who can speak English well.

The second component is the international student body, and HUIS already has a large number of international students, so I believe the focus should be on raising the quality of the students.

Finally, Japanese "collectivism" is one barrier to globalization that needs to be resolved.

To that end, in today's speech contest, I will highlight these issues and propose solutions.

<審査結果> (敬称略)

最優秀賞： Nguyen Tran Tieu My (現社2年)

優秀賞： 川本 早姫 (現社2年)

審査員特別賞： 徳山 優雅 (現社2年)

学生賞： 中島 和加菜 (現社2年)

<参加者> (発表順・敬称略)

佐伯 陽菜 (放送2年)

玉腰 充流 (現社2年)

兒島 幹太 (現社2年)



第十七回

留学生日本語弁論大会

令和4年11月8日(土) 於 1401教室

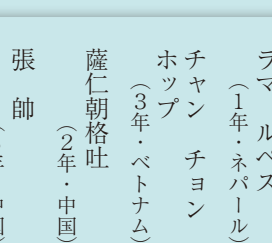
濱下名誉会長発案の本大会が、大学の皆様のおかげで今年も盛大に開催されました。大阪公立大学、大阪大谷大学を含む8名の留學生が出席され、日本に暮らし、大学で学ぶ中で感じた、考えたことを発表されました。美羽会会長が審査員、名誉会長が敢闘賞のプレゼンターを務めました。美羽会員も観覧くださり、感想をご寄稿いただきました。



《最優秀賞》
矯 春陽
(3年・中国)



《優秀賞》
馬 銘鴻
(1年・中国)



《国際交流賞》
ラマルベス
(1年・ネパール)
チャン チヨン
ホップ
(3年・ベトナム)
薩仁朝格吐
(2年・中国)
張帥
(3年・中国)



《敢闘賞》
グエンティホントウイ
(2年・ベトナム)



《観客賞》
イ イエリン
(4年・韓国)



日本語弁論大会に寄せて

四大1期 廣川すが子

第17回留學生日本語弁論大会開催おめでとうございます。どの内容も若者らしく、素直さが体全体からにじみ出て感動しました。個人的には、中国の学生でありながら日本の高齢者ホームでアルバイトをしながら年寄り語や大阪弁を練習し日本の生活を学び、お年寄りを応援して下さり感謝しています。自分自身も超高齢者故、可愛いお年寄りになりたいと思いました。さて日本の若者には出来るかな?と少し不安でもあり期待もしています。弁論大会に出でられるだけで心が豊かになり上手な日本語でした。8名全員、声が大きくはっきりして聞きやすかったのとユーモアが豊富で、笑いで場を和ませてもらい素晴らしい大会でした。自分自身も若者からパワーをいただき、これからも元気で日々を送りたいと思いました。私は言います!「出身国は違っても仲良く世界が平和になるように社会貢献よろしくお願ひします!」それにしても留學生は日本をよく観察しているなあと思ったのと、皆心優しい! 親しいが体全体から表れてホッとしました。

四大19期 李 来鋒

今回の留學生日本語弁論大会を通じて、多くの役に立つことを学びました。例えば、時には嘘も嘘だけではありません。嘘の背後には愛が含まれているかもしれませんし、尊重が含まれているかもしれません。また、僕にとって共感を呼ぶことができたところがいくつかあります。チャン・チヨン、ホップさんは、発表しているうちに「女の子だから」という言葉が出てきました。「女の子だから」という言葉を聞いて思っても「女の子だから」「女の子らしくない動きだから」と両親が反対することがよくあると、自分の人生経験から出発すると、「男の子だから」こそ勉強から個人的な趣味まですべて制限されていること。それが私になぜ日本で独立して生活して勉強したいと思ったのかという理由の一つと考えています。両親はいつも両親が望んでいるように成長してほしいと思っていますが、いつも両親の期待の中で生きていくプレッシャーがあります。馬さんも日常生活や勉強する時でも「好奇心が一番大事」と言われてきた。バイトをしているうちにわからない言葉を調べるなども好奇心がある証であると思えました。僕から見るとそれも既知の疑い、未知の探索と認識しました。

日時…令和4年10月16日(日)13時より

場所…羽衣国際大学4号館2階大会議室

出席者…濱下名誉会長、花川会長役員含む

評議委員18名、委任状出席者35名

(評議委員総数94名)

陪席者…山出谷学生支援課課長、桑原総務

課課長

一、花川会長挨拶

「美羽会57周年のつどい」にて会長の承認をいただいてから半年が過ぎようとしている。この間、多くの活動があったが、濱下名誉会長のお助けで無事に運営することができている。

今年、羽衣国際大学が開学20周年を迎え、美羽会からお祝いとして20万円を学長室にて贈呈した。

これからの3年間は、これまでの時代になぞって濱下会長がなさってきたことを学習し、何が必要か役員と建設的に考えていきたい。



二、美羽会濱下名誉会長挨拶

会長在任中は1期3カ年の間に何をすべきか常に頭に入れ提案を出し実行し、総会の度に報告するという責任、重圧が大きく、特に会費を預

かるというのが自分の財布の中身ではないので常に苦しかった。その重しが取れたので気持ちが悪くなった。今後は引退して傍観するわけではなく、これまで応援し美羽会を支えてくださった役員の皆様のお力添えを無駄にすることはできない。いつまで続くかは解らないが下支えをするつもり。美羽会を失うことがないよう、次の役員にも頑張ってもらいたい。評議委員もできるだけ提案し活動して美羽会を支援してほしい。常に新しいことに取り組む時にマンパワーというものが大要で、それをどのように得ていくかが大きな課題になるので、皆様のお力添えで新しい会長を応援してほしい。

【議案】

一、規約について(会長から補足説明があった：赤字部分)

第5条 (会員)

(1) 正会員 羽衣国際大学及び羽衣短期大学卒業生

(2) 準会員 羽衣国際大学在学学生

(3) 特別会員 羽衣国際大学に在職する専任教職員及び退任教職

員

特別会員の特別というのとは最初に美羽会に納付する美羽会費をいただかない会員でそれ以外は正会員、準会員と同じ

(役員・評議委員の任期)

第9条 役員の任期は3年、評議委員の任期は1年とする。3年ごとに理事が会長を選出し、会長が理事を選出し総会で

承認を得る。評議委員の任期は基本1年で、自動更新とする。

名譽会長、顧問の任期は本人または家族の申し出がない限り終身とする。

(2) 会計監査の任期は2期6年とし、途中で会長が変わっても継続する。

公正さを周囲からも理解いただくために2期6年とする

(名譽会長の任務)

第10条 名譽会長の任務は次のとおりとする。

(3) 名譽会長は、会長の依頼により業務の支援を行う。

名譽会長は実務から離れるというイメージがあるが、美羽会の活動は長い歴史があり、一朝一夕で会長が務まることではない為この10条により名譽会長に支援をいただいている。



(総会の開催) 第18条

(1) 評議委員総数の出席者の過半数をもって成立する。

委任状を5年以上上ただけなかった評議委員は解任する

二、美羽会57周年の集いについて

令和3年後期総会の後から本格的に準備を始めた。2年前にコロナ禍で開催できなかった総会と学園創立100周年の幕開けをつけるということ、30年以上に渡り会長を務められた濱下名誉会長の退任式を行うという大きいテーマが3つあった。準備期間はコロナに対する安全対策を万

全に皆さんをお迎えするという強い思いのもと準備を行った。

当日は濱下名誉会長の人徳で100名を越える方にご参加いただいた。オープンングパフォーマンスとして辰巳満次郎先生と2名のバレリーナによるクニトコタチ〜平和への祈りの舞が披露された。

総会においては濱下名誉会長の挨拶、会長による美羽会に対して永年功労賞と当時の役員に感謝状が贈られた。その後中川学長の挨拶を賜り、松井理事長の乾杯のご発声でパーティーがはじまり、美羽会から学園の百周年のお祝いを贈呈した。

今回は中学、高校の同窓会とのコラボという事で松園会合唱団に出演していただき素晴らしいハーモニーが会場中に響き渡った。

会の最後に第四代会長引退式ということで、千綿前理事が五代目会長を推挙することになった経緯の説明と、参加している方にも承認をいただき花川会長が誕生し新役員の紹介があった。その後新会長により感謝状と記念品が濱下名誉会長に贈呈されお開きとなった。

参加された皆様から「殺伐としたコロナ禍の時代に温かいものに触れさせていただいた」「ほのぼのとした気持ちになっ

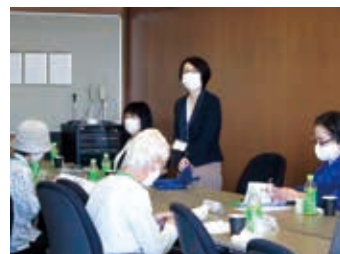


た」「コロナ禍で参加することに迷っていましたが来てよかったです」と感想をいただいた。三、会報「美羽」43号について
○美羽会部門
昨年9月から記事集めが始まり、たくさんの皆様からさまざまな記事いただいた。紙面構成が非常に大変で作成する紙面が限りなく増えていった。文字校正も膨大になり予算に限りもあるのでそこからのようにまとめるか苦労した。

○大学部門

大学の活動がわかるような内容で皆様に読んでいただけるようなページ構成とさせていただいた。来年羽衣学園百周年を迎えるので百周年の記念イベントや法人からの依頼もあったので寄付金のご案内も入れさせていただいている。

保護者会からの記事も同様にコロナという事で活動もあまりできなかったが、出来る限りのことでの紹介、ご報告という形で記事を構成。また、村上先生の名誉教授、学友会等々、大学の方の記事を掲載させていただいた。会報44号から新



たに桑原総務課課長へと担当が変わることが報告された。

四、会報「美羽」44号について

○美羽会部門

「57周年美羽の集い」、「中川新学長、濱下名誉会長、花川会長による鼎談」の2つの記事をメインとする。その他日本語弁論大会、英語スピーチコンテスト、母校支援など通常通り活動報告を掲載する。発送時期については、例年通り6月を予定。

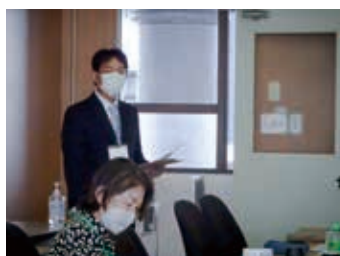
表紙絵について、43号までは切り絵作家さんをお願いしていたが今回から泉佐野の就労継続支援事業所の古谷嵐さんという作家さんをお願いしている。

○大学部門

令和4年度一年間で実施した各種行事、学生の活動を、また4つの強化クラブの結果等含めて学生の様子が皆様に伝えるような内容で作成できればと思っている。保護者会のページも作成させていただくと、来年度44号が発行されるところが羽衣学園百周年のイヤーになるのでそれに関するような内容もこちらからご提供させていただくことになるかと思う。

五、その他

濱下名誉会長より出席者全員に、学園が百周年を迎えるにあたり募金活動を行っているので協力と、同級生など周りの人への声掛けの依頼があった。



令和5年度美羽会前期総会議事録

日時…令和5年4月30日(日) 11時より
場所…羽衣国際大学4号館2階大会議室
出席者…役員8名・評議委員12名

委任状出席者29名(総数94名)

陪席者…中川学長、石川副学長、吉村事務局長、桑原総務課長

一、花川会長挨拶

美羽会をお預かりし二年目を迎えました。役員、評議委員の皆様、大学の教職員の皆様、そして濱下名誉会長の並々ならぬご協力のお陰で無事に活動出来ておりますことに心よりお礼申し上げます。

二、中川恵学長ご挨拶

お陰様で四年制大学がスタートしてから今年二十一年目となります。今年の四月に四大開学以来最も多くの入学者を迎えることができました。

また卒業生2名が教職員としてこの春から勤務することになりました。

美羽会の皆様には開学以来、常に学生の事を気にかけていただき、特に留学生の活躍できる場を作り支援下さったこと、本当に感謝しております。

大学の価値をはかるには、いろんなランキング等々ありますが、卒業生の皆様にこの大学で学んで良かったな、この大学の卒業生で良かったなという風に誇りに思ってもらえる事、これが大きな大学の価値財産であると思います。そこに向かって大学の教職員一同、今後も努力していく所存でございますので引き続きご指導、ご鞭撻をいただけますようお願いいたします。

三、石川英子副学長ご挨拶

宝塚のカレーグランプリの際には、卒業生の方が遠いところ買いに来てくださり、本当にいろいろなところで助けていただいております。その時にも

美羽会様にもたくさん買っていたいただいて優勝することができました。ご来場くださった卒業生の方が「羽衣国際大学の名が宝塚の地で出てくる事が嬉しいです。」とおっしゃってくれたのが印象的でした。

また大学生におきましても色々な手厚いお力添えをいただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今後とも教職員一同恥じないよう前に向かつて頑張つてまいりたいと思っております。ご指導賜りますようお願い申し上げます。

四、吉村太造事務局長ご挨拶

今年の4月から新たに第5期中期計画と言う事で、5ヶ年度で更に大学を発展させていく、学園の学びを更に深めていくと言う計画を立てています。学びや国際交流の改善を含めまして大きな所をいくつかやっています。これにつきましても、卒業生の皆様からも様々な意見を頂戴し、更に充実した良いものにしていききたいと思っております。ぜひ今後とも協力の程よろしくお願ひ致します。

【議案】

一、令和4年度活動報告・会計報告

「美羽会五十七周年のつどい」に於いて、学園百周年のお祝い、9月には羽衣国際大学二十周年のお祝いを贈呈。会計監査より監査報告がなされ承認された。

二、令和5年度行事予定・予算案

第18回留学生日本語弁論大会が、10月7日(土) 10時40分より学園講堂で開催される。濱下名誉会長が発案、大学教職員が内容を充実させ続けてくれているので聴きに来てほしいと依頼があった。行事予定、予算案ともに承認された。

三、規約の一部変更について

次の2項が付け加えられた。
「第2章(役員・委員の選出)
第8条2 評議委員は次の者に該当する。

(2) 住所不明等で連絡が取れなくなった
り、総会の出欠返信が5年以上無い委員は自動的に解任するものとする。」

「(役員・評議委員の任期)

第9条 名誉会長は終身、最高顧問・顧問は満80歳とする。」(令和4年後期総会時の補足では最高顧問・顧問の任期を終身としていたが、最終的に80歳任期満了と決定した。)

2項とも承認された。

四、会報44号について

「美羽会五十七周年のつどい」と「学長との鼎談」を特集

辻中評議委員より「美羽会五十七周年のつどい」について次の報告があった。

「記事収集について濱下名誉会長がかなりの部分を寄せていただき私達が文章を直した遠く離れて総会に来れなかった方、来たくてもコロナがあって気にはなってるけれども来れなかった皆さんに当日の様子を出来るだけ見えるような内容にした。濱下名誉会長のページに押され作成しました。」

大学のページ(桑原課長)

現在、各部署から提出されている学生活動紹介の原稿の第一稿を入稿しています。今年度の大学祭の内容等の詳細まではまだ集まっていないので、決定次第早急に校正の方にまわさせていただきます。ご協力をお願いします。

五、その他

濱下名誉会長から学園百周年に対し、「私達も羽衣学園の一員である。只今寄付を受け付けているので是非ともご協力を」との呼びかけがあった。





李 相潤



グエン ティ トウ チン



増山 葉瑠弥



古謝 みんと

令和5年度会計経費予算

(R5.4.1~R6.3.31) (円)

区分	費目	予算額
収入	会費 (20期生)	6,680,000
	前年度繰越金	0
	合計	6,680,000
支出	会報費	3,300,000
	活動費	2,292,000
	慶弔費	100,000
	母校支援金	600,000
	消耗品費	100,000
	通信費	200,000
	人件費	60,000
	通勤費	1,000
	雑費 (振込手数料等)	2,000
	備品費	0
	福利厚生費	5,000
	福利厚生積立金	20,000
	催事準備金	0
	運営準備金	0
	合計	6,680,000

「57周年の集い」収支報告

収入 (催事費・参加費等)	支出	差引
3,997,099	3,997,099	0

「大学20周年お祝い金」収支報告

費目	収入	支出
運営準備金より取り崩し	200,000	200,000

令和4年度会計報告

(R4.4.1~R5.3.31) (円)

区分	費目	予算額	決算額
収入	前受金会費 (19期生)	6,580,000	6,580,000
	「学園100周年お祝」積立取り崩し	1,000,000	1,000,000
	前年度繰越金	26,801	26,801
	合計	7,606,801	7,606,801
支出	会報費	2,440,000	2,828,400
	活動費	2,926,801	2,447,794
	慶弔費	120,000	119,529
	母校支援金 (100周年お祝含)	1,700,000	1,732,196
	消耗品費	100,000	90,265
	通信費	80,000	192,651
	人件費	95,000	76,475
	通勤費	10,000	220
	雑費	10,000	3,731
	備品費	0	0
	福利厚生費	20,000	10,540
	福利厚生積立金	20,000	20,000
	催事準備金	70,000	70,000
	運営準備金	15,000	15,000
	合計	7,606,801	7,606,801

「別途収入」

自動販売機収益金	158,133	催事準備金に充当する
寄付金	210,000	運営準備金に充当する
合計	368,133	

以上帳簿、伝票を詳細に監査しました結果、適正であることを認めます。
令和5年3月31日 美羽会会計監査 文野奈緒美

さらなる飛躍へ



羽衣学園は
今年100周年を
迎えます。

2023 オープンキャンパス情報

高等学校 ■文理特進Ⅰ類コース ■進学コース
■文理特進Ⅱ類コース

第1回 9/30 (土) 午後 第2回 11/11 (土) 午後 第3回 12/2 (土) 午後

中学校 ■文理特進Ⅰコース ■文理特進Ⅱコース

入試を体験してみよう!
第1回 5/27 (土) 午前 プレテスト① 8/26 (土) 午後
第2回 10/14 (土) 午前 プレテスト② 11/5 (日) 午後

中学・高校共通イベント

入試個別相談会(学校見学会も同時開催)

12/9 (日) 午後 12/16 (日) 午前 12/23 (日) 午前 9月 放課後の week クラブ体験 11日・13日・16日 (日)



羽衣学園 中学校 高等学校

お問い合わせ
(入試広報部)

TEL 072-265-7561(代)

□ご寄付のお願い

同窓会と母校を繋ぐため、また会の発展を願い日々活動しております。今年もご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

寄付金は郵便振替用紙（青色）にてお願いいたします。

・口座番号

00900・0329342

・口座名

羽衣国際大学・羽衣学園短期大学同窓会美羽会

・一口一、〇〇〇円

期または卒業年、会員番号、コース等もご記入をお願いいたします。

□会員番号の見方

(宛名右下の番号)

例

S 41 短 文 01 001

- ・学年の通し番号
- ・期生
- ・学科
- ・短→短大 四→四大
- ・卒業年
- ・元号（S昭和H平成R令和）

美羽宝生会

美羽会員の皆様、日本の伝統芸能である能を楽しみませんか。仕舞ではすり足と呼吸で心身能力が高められます。また、源氏物語、平家物語等日本の古典文学にも触れることができ、年令を問わずに親しめます。

《お稽古場》

羽衣国際大学内

《お稽古日》

第一・第三火曜日
十六時～二十時

《指導者》

辰巳満次郎先生



宝生流シテ方能楽師
重要無形文化財総合指定認定
羽衣学園学術顧問
羽衣国際大学客員教授



辰巳大二郎先生
宝生流シテ方能楽師

*美羽会宝生会本会員資格

四大・短大卒業生・その子女

*詳細についてのお問い合わせは、左記FAXまたはメールでお願いいたします。

FAX 072・265・3091
Eメール MIWAKAI@HAGOROMO.AC.JP

同窓会を語る不審な電話詐欺等にご注意を！

慶事

会員の皆様のご結婚情報が届きましたらお祝いのメッセージをお送りしますのでご連絡下さい。

弔事

会員のご家族、お友だちから訃報のご連絡をいただきましたら、ご遺族に確認後会報掲載の上、ご家族に慰霊祭のご案内をお送りしております。

●会員数

19,342名
(内留学生 1047名)

●準会員数

1,145名
(内留学生 202名)

●特別会員

在職する専任教職員及び
退任教職員

あなたの“のびしろ”が、きっと広がる。

羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

HAGOROMO OPEN CAMP 2023 US

SCHEDULE 来場型で実施 事前予約制

6.18^{SAT} / 7.9^{SUN} / 7.23^{SUN} / 8.6^{SAT} / 8.19^{SAT} / 9.10^{SUN} / 10.8^{SUN}

開催時間 10:00 - 15:00 | 受付時間 09:30 - 14:30 | ランチタイムあり

12.3^{SUN}

開催時間 10:00 - 13:00 | 受付時間 09:30 - 12:30 | ランチタイムなし

現代
社会
学部

現代社会学科

経済・経営コース
国際英語コース
観光コース
スポーツコース

放送・メディア映像学科

放送・メディアコース
映像コンテンツコース
情報システムコース

人間
生活
学部

人間生活学科

食クリエイトコース
[製菓衛生師養成課程]
ファッションデザインコース
住空間デザインコース
こども教育コース

食物栄養学科

[管理栄養士養成課程]

医療栄養コース
フードデザイン・食育コース
スポーツ栄養コース
グローバル栄養コース

▼事前予約はこちら▼



ファミリー優遇制度 ~志願者本人対象~

志願者の親、兄弟・姉妹が「羽衣学園短期大学」「羽衣国際大学」の卒業生または在学生の場合、「入学金全額免除」になる優遇制度です。

双子が同時入学する場合も本制度は適用されますが入学手続き後の申請となります。

3年次編入については、本人が卒業生の場合「入学金」「同窓会費」が免除となります。

兄弟・姉妹優遇制度 ~兄弟・姉妹対象~

ファミリー優遇制度を申請した志願者が入学した時点で、志願者の兄弟・姉妹が「羽衣国際大学」の在校生の場合、上記のファミリー優遇制度に加え、兄・姉の授業料が免除になる優遇制度です。

双子が同時入学された場合にも本制度は適用されますが、入学手続き後の申請となります。

減免内容：前期 100,000 円 後期 100,000 円 (年間 200,000 円)

減免期間：兄・姉 4 が卒業するまで

※上記のファミリー優遇制度の申請に不備がある場合は、兄弟・姉妹優遇制度の適用はできません。

学校法人羽衣学園100周年記念イベントのお知らせ

2022年に開学20年を迎えた羽衣国際大学、今年創立100年を迎える羽衣学園は、今年も「記念イベント」を企画しています。美羽会員の皆様に同一法人企画も含めて「記念イベント」をお楽しみいただきたく、ご案内申し上げます。

イベントの詳細、今後の企画については「100周年記念サイト」でご案内いたします。「100周年記念サイト」はQRコードや学園のホームページからご覧いただけます。

【羽衣学園創立100周年（羽衣国際大学開学20周年）記念】

■現職 & 若手卒業生を招いての「夢支援プログラム」特別座談会 ①&②

開催日時： いずれもオープンキャンパス開催日

① 2023年7月23日（日）14時～15時、「夢支援プログラム特別座談会①－教職編」

都知木 鮎末 氏（豊中市立第2中学校、人間生活学科・令和4年度卒業）

山際 七夢 氏（阪南市立信達中学校、人間生活学科・令和4年度卒業）

② 2023年8月6日（日）14時～15時、「夢支援プログラム特別座談会②－公務員編」

吉田 直生 氏（岸和田市役所、現代社会学科・平成31年度卒業）

新藤 芽依 氏（国立大学法人鳴門教育大学、現代社会学科・令和3年度卒業）

会場： 羽衣国際大学1401教室（大学キャンパス、1号館4階）

■「潮風と松風薫る羽衣のまち」特別座談会

開催日時： 教育後援会設立総会開催日

2023年7月29日（土）14時～15時

会場：羽衣国際大学1401教室（大学キャンパス、1号館4階）

座談会（3人による鼎談形式）：

ゲスト講師： 柳本 徳之 氏（第13区東羽衣あいあい会会長）

対談コメントータ： 中島 智（本学・現代社会学部准教授）

進行（聞き手）： 杉原 充志（本学・学長特別補佐、現代社会学部教授）

『ありがとうメッセージ』募集企画（インスタグラム連動）

『はごろも思い出写真館』募集企画（インスタグラム連動）

『100字で綴る感謝のカタチ』募集企画（公募コンテスト型）



キャリア支援課だより

コロナ禍もようやく収束の兆しを見せ、昨年まで主としてオンラインで行われてきた就職活動も、徐々に対面に回帰する企業も増えてきています。キャリア支援課では、そのような企業の求人動向を見極めながら、引き続き学生一人ひとりに寄り添い、それぞれが志望の進路に進めるよう、しっかりとサポートして参ります。

2023年3月卒業生の主な就職先：

【現代社会学部】ソフトバンク（株）、（株）よしもとブロードエンタテインメント、八尾市役所、田尻町役場、岬町役場、大阪府警察、日本郵便（株）、（株）関空エンタープライズ、サンヨー航空サービス（株）、など

【人間生活学部】江崎グリコ（株）、（医）医誠会、（社医）栄公会佐野記念病院、（社医）若弘会若草第一病院、大阪府役所、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、日清医療食品（株）、（株）TASAKI、など

○ キャリアカウンセラーによるサポートと様々な就活支援イベント

国家資格を持つ専門スタッフが、一人ひとりの学生に対して、自己分析、履歴書作成、模擬面接など、就活の伴走者として様々なサポートをしています。また、学内合同企業研究会や学内採用選考会などの就活支援イベントで多くの内定を獲得、プロカメラマンによる履歴書用写真撮影会も実施し、夏季と春季のインターンシップでは、多くの学生が実習参加して就業体験をし、社会に出るための経験を積んでいます。



オンライン合同企業研究会



インターンシップ実習

キャリア支援課では、新卒求人と夏季・春季のインターンシップ実習のお受入れを広く募集しております。

キャリア支援課 TEL：072-265-7400

MAIL：career@hagoromo.ac.jp

おねがい

100周年記念事業委員会

羽衣学園では創立100周年記念事業として未来を見据えた教育環境の充実に向けた事業を計画しております。卒業生、学園関係者の皆様に本事業のご理解とご支援を賜りたくどうぞよろしくお願い申し上げます。

■お申込みについて

個人の方 1口 1万円（1口未満のご寄付もお受けいたします）

法人・団体の方 1口 10万円（1口未満のご寄付もお受けいたします）

*申込み方法は学園ホームページの「寄付金募集」の専用サイトからインターネット振込
または指定用紙によるゆうちょ銀行からの振込

■寄付者の特典

募金開始から2年間（令和6年3月末まで）にご寄付いただいた「2口以上の個人様」「1口以上の法人様」のご芳名は学園内設置予定の「記念事業寄付者銘板」に刻銘し、末永く顕彰させていただきます。

■税制上の優遇措置

寄付金の入金確認後、領収書と寄付金控除にかかる証明書をお送りいたします。詳細につきましては、学園ホームページの「寄付金募集」専用サイトをご確認いただくか記念事業事務局までお問い合わせください。



【研修・交換留学】

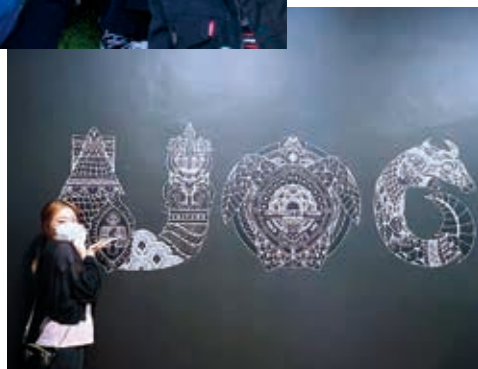
卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、こんにちは。共通教育開発センターは、昨年度から教職協働組織となり1名の教員、5名の職員で、全学共通教育の学生支援、学修支援を担当しています。担当業務の一つである国際交流では、昨年度から2年ぶりに交換留学、海外研修等が復活しました。昨年2月には2名の学生（現代社会学科国際英語コース）が韓国の協定校（釜山外国語大学、順天郷大学）へ1年間、1名の学生（人間生活学科ファッションデザインコース）が順天郷大学に半年間留学し、貴重な留学体験をして無事帰国しました。

また、昨年7月以降、以下の海外研修が実施され、延べ19名の学生が海外へ飛び立ち、いずれも研修目的を果たして無事帰国しています。

【2022年度 本学学生参加した海外研修名、派遣先大学、派遣期間、派遣人数】

派遣先大学名	派遣先国	派遣期間	派遣人数
サンフランシスコ州立大学	アメリカ	2022年7月11日～7月22日	1名
釜山外国語大学	韓国	2022年8月7日～8月27日	5名
サザンクロス大学	オーストラリア	2022年8月8日～2023年3月18日	1名
グアム大学	アメリカ	2022年9月1日～12月16日	1名
釜山外国語大学	韓国	2022年9月8日～2023年2月9日	1名
サンフランシスコ州立大学	アメリカ	2023年2月13日～3月10日	6名
	アメリカ	2023年2月13日～3月3日	1名
	アメリカ	2023年2月13日～2月24日	2名
釜山外国語大学	韓国	2023年2月6日～2月24日	1名

共通教育開発センター（CSD）では、学生の成長につながる多様な海外研修、交換留学の機会を増やし、安心して参加できるよう支援していきたいと考えています。



地域連携活動

■「第18回紀州湯浅のギョギョっとお魚まつり」開催！

「羽衣食堂」オープン！！2022.11.6

「ユアサノタカラ」初お目見え！

学生たちが3年間かけて様々な湯浅町の特産品を取り寄せ、研究し、完成したスイーツは三宝柑・金山寺味噌・湯浅醤油を使用したカヌレ型の焼き菓子です。地元の角長さんと太田久助吟醸さんからそれぞれ醤油と金山寺味噌を取り寄せ、三宝柑は昨年購入したものを長期保存ができる食材として粉末に加工したものを使用し、「ユアサノタカラ」が完成しました！市販化を企画中！



石川ゼミ
(食物栄養学科)
しょうゆ麴からあげ&
紀州特産梅・
しらすおにぎり



市田ゼミ
(人間生活学科)
「ユアサノタカラ」

■現代社会学科・中島ゼミが「第17回紀州湯浅のシロウオまつり」で小学生対象「プチロゲイニングゲーム」を実施！ 2023.3.19



まちを歩きながら地図に示されたチェックポイントを探し、写真を撮ってポイントをゲット！隠れたオモシロ風景発見！

■浜寺公園プロモーションビデオ制作

2022年3月～2023年7月

2023年12月に開園150周年を迎える浜寺公園のプロモーションビデオを放送・メディア映像学科生が1年半かけて制作。パーキ君とローズちゃんが公園で出会い、二人で宝を育む…その宝とは？というドラマになっています。シナリオも撮影も演者も編集も学生が担っています！



■「高石市子どもカーニバル」2022.4.30



*羽衣「食育」プロジェクトのブース…箱に入った果物と野菜を手で触って当ててみよう！おそろおそろ手を入れて…、あ！でこぼん！

*人間生活学科のブース…学生とじゃんけんして勝ったら、おタマでお菓子をすくおう！3回勝負！真剣だ！



食物栄養学科生考案《ハゴロモスパイスカレー》が高石市のふるさと納税返礼品になりました！宝塚カレーグランプリ2022でグランプリを受賞した《ハゴロモスパイスカレー》レトルト4袋+スパイス1袋がセットになっています。

●ふるなびのQRコードから注文できます→



大学・クラブ活動 2022

強化クラブ紹介

2003年硬式野球部、2015年女子ソフトボール部、女子駅伝部、2016年バドミントンクラブが強化クラブとして設立されました。強化クラブの方針「文武不岐の実践を通して人間力を高める」ことを目的として、2023年度は、総勢94名が日々、学業に、競技に、そして人間力を高めるために頑張っています。試合結果は、随時ホームページで公表していますので、お時間のある時にご覧ください。これからも応援よろしくお願いたします。

硬式野球部

○ 2022年度競技実績（近畿学生野球連盟）

三部 春季リーグ戦
7勝0敗1分（リーグ優勝）／入替戦敗退
三部 秋季リーグ戦
4勝3敗1分（リーグ3位）
新人戦（1・2年生）
1回戦敗退



○ 2023年度の抱負

いつも強化クラブへのご支援ならびに、ご協力を賜りありがとうございます。今年には12名の新入生が加わり、現在33名で活動しております。野球部では、大学グラウンドでの基本練習と、学外施設での打撃練習や連係プレー、対外試合や遠征での実践練習を繰り返し行いながら「9度目の優勝と5度目の昇格」の競技目標に向けて取り組んでいます。強化クラブ員が活動に打ち込めるのは、みなさまのお力添えのおかげです。部員一同、感謝の気持ちを胸に取り組みんでいます。秋のリーグ戦では、優勝と昇格のご報告ができるように全力を尽くします。

女子駅伝部

○ 2022年度競技実績

関西大学対抗女子駅伝競争大会 12位・関西学生種目別選手権大会 1500m 決勝進出
全国招待大学男女今後駅伝・ 関西学連選抜選手に選出

○ 2023年度の抱負

本年度はモチベーションをテーマに競技、学業に取り組みます。モチベーションを上げるために、自分自身に向けた明確な目標を設定し、目標を達成するために何をすべきか、そのためにどのような努力をする必要があるかを明確にします。このモチベーションを高めるベースとなっているのは皆さんの応援、ご支援です。秋の関西学生女子駅伝では笑顔でご報告できるように邁進して行きます。



女子ソフトボール部

○ 2022年度競技実績

関西学生ソフトボール春季リーグ Ⅱ部5位・関西学生ソフトボール秋季リーグ
Ⅱ部4位・全日本インカレ近畿地区予選 2回戦敗退・西日本インカレ 2年連続出場

○ 2023年度の抱負

今年度新入生の6名を加えて、14名で活動しています。5月の全日本総合予選の出場に向けて、岡本新監督のもと、日々練習に取り組んでいます。本年度もチーム一丸となつていい結果が残せるように頑張っていきたいと思ひます。応援よろしくお願いたします。



バドミントンクラブ

○ 2022年大会情報（主な成績）

関西学生春季リーグ戦（男子3部5位、女子2部7位）
関西学生選手権（個人戦）
大阪総合選手権（一般女子ダブルス・山口／福岡ペア：ベスト8）
西日本学生選手権
関西学生秋季リーグ戦（男子3部3位、女子2部8位）
関西学生新人戦（女子シングルスB・市橋：優勝、男子シングルスB・竹内：準優勝）
大阪学生選手権（団体戦）（女子1部準優勝、男子2部3位）
大阪学生選手権（個人戦）

○ 2023年度の抱負

日頃より美羽会のみなさまからのご声援とご支援により、厳しいコロナ禍の活動も乗り越え少しづつクラブも発展して参りました。3月には1期生と一緒に活動した4期生5名が卒業しました。2～3年時は大会出場もなかなか難しい環境でしたが、地道に練習・トレーニングを実施し、今後上位に食い込める期待の下地を作ってくれました。社会人となつてもきっと活躍してくれることと期待しています。またみなさんの仲間入りとなりましたので、よろしくお願い致します。

2023年度は男子7名、女子5名の新一年生を迎え、30名弱という今までにない人数での活動となります。高校時代に全国大会に出場した学生も入学してきました。競技力の向上と学生としてのさまざまなレベルアップと「強化クラブ生」としての自覚を持つて有意義に学生生活を送り、大学や地域に貢献していけるよう過ごしていきたいと思います。

本年度も引き続きご指導、ご支援の程、よろしくお願致します。



2022年度卒業式

学友会だより

今年度のHA☆GO祭は10月28日(土)、10月29日(日)に開催いたします。今回は通常開催で実施できることになりましたので、昨年以上に誰もが活気よく時間を忘れて楽しめるHA☆GO祭を目指してまいります。卒業生の皆様、ぜひお越しください。学友会執行部一同お待ちしております。

教育後援会だより

2023年度から、保護者と親羽会を統合し羽衣国際大学・羽衣学園短期大学教育後援会を設立しました。設立を記念して教育後援会設立総会を2023年7月29日(土)に開催します。詳細は100周年記念イベントのお知らせ(30ページ)をご参照ください。

各種証明書の発行について

卒業生の方が転職、進学、資格取得等のために各種証明書が必要な場合には、本学ホームページから「証明書交付願」を印刷、所要事項を記入し、手数料相当額の切手・返信用封筒(切手を貼付し住所・氏名を明記)・身分証明書のコピーを同封の上、教務支援課へ郵送してください。なお、直接来学される場合は、事前にご連絡をお願いします。

英字の証明書発行には7~10日程度かかります。

※詳細はホームページをご覧ください。

申込先: 羽衣国際大学 教務支援課

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1

TEL: 072-265-7102 受付時間: 月~金・9時~16時30分

※土・日・祝日・夏季・年末年始休業期間、開学記念日は受付しません。

◆発行手数料(各1通につき)

卒業証明書	200円	
成績証明書	200円	
司書資格修得証明書	200円	
学芸員資格修得証明書	200円	
英字	卒業証明書	400円
	成績証明書	400円

※郵送の場合は別途郵送料が必要となります。

※その他の証明書についてはお問合せください。

【ご退職(敬称略)】 『長い間お疲れ様でした』

教授
松田 久雄
キャリア支援課
神奈川 由季子
スポーツ振興課・キャリア支援課
小林 朝子
食物栄養学科
七五三 彩乃
食物栄養学科
定 沙樹
(令和5年5月31日現在)

お悲しみ(敬称略)

元副学長
片岡 幸彦
令和四年八月
元教授
大湊 茂
令和四年二月
名誉教授
安東 伸元
令和四年十月
元職員
勝間 武子
令和四年九月
元職員
木下 敏子(神崎)
短大3期
令和三年七月
藤垣 園子(松尾)
短大4期
令和四年一月
山本 昭子(田中)
短大5期
令和四年八月
短大6期
辻川 千穂(楠本)
令和四年一月
短大7期
木戸 富子(森)
令和四年一月
短大8期
依田 陽子(扇谷)
令和二年
短大10期
今津 正代(杉野)
令和四年十一月
短大12期
大上 雅代(天久保)
令和四年五月
短大23期
三浦和美(椿野)
短大35期
有北 奈佳
平成三十年

謹んでご冥福をお祈りいたします。

●慰霊祭のご案内 日時: 9月20日(水) 14時~(予定) 場所: 学園講堂

編集後記

初めて会報に携わることになり、学長鼎談という大変貴重な体験をさせていただきました。質問を出し、返ってきた言葉を受け留め、次の質問に入っていくということを目の当たりにし、改めて折に触れ多くの情報に興味を持ち学ぶという必要性を感じました。

<一筆 佳子>

今年はずいに学園100周年です。同窓生のみならずにご参加いただけるイベントもございますので、ぜひ懐かしい校舎に足をお運びください。今後も学園発展の為に協力をお願い致します。

<桑原 真弓>



料金後納

ゆうメール



◎ご家族の方へ

ご本人様がこの住所にお住まいではない場合は、お手数ですが、ご本人様に転送をしていただきますようよろしくお願いいたします。

◎住所変更について

同窓会員の皆様の中で、住所の変更があった方は、同窓会事務局までお申し出ください。

羽衣国際大学・羽衣学園短期大学同窓会

美羽会

(事務局開室日：月・水・金)

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1

TEL/FAX (072)265-3091

E-mail : miwakai@hagoromo.ac.jp

ホームページ : <https://www.hagoromo.ac.jp/miwa/>

差出人：(株) サラト 〒670-0948 姫路市北条宮の町172

返還先：羽衣国際大学内 サラトメールセンター

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1